※令和４年度以降入学生用

学校番号	２１８

令和５年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭総合	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	家庭総合　自立・共生・創造（東京書籍）						
副教材等	生活学 Navi　資料＋成分表（実教出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇家庭生活に関心をもち、積極的に取り組みましょう

・生活の様々な現象や課題を講義・実験・実習・演習形式等、さまざまな授業形態を通して、自らが主体的に考え、行動し、実際の生活の場で実践的に生かせるようにしましょう。

・また、家庭においてあたりまえの日常生活を丁寧にすごすこと、新聞を読むこと、ニュースを視聴すること、これらのことが、家庭科の学習において大切な家庭学習になります。

・実践的・体験的な学習を通して、科学的な理解に基づいた確かな技術を身に付けます。

・学んだことを自分の生活の問題として捉え、よりよい生活をめざします。

２　学習の到達目標

″生活の営みに係る見方・考え方を働かせ，実践的・体験的な学習活動を通して，様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

（1）人の一生と家族・家庭及び福祉，衣食住，消費生活・環境などについて，生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに，それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けるようにする。

（2）家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど，生涯を見通して課題を解決する力を養う。

（3）様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，地域社会に参画しようとするとともに，生活文化を継承し，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉，衣食住，消費生活・環境などの基礎的なことについて理解しているとともに，それらに係る技能を身に付けている。	生涯を見通して，家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活を創造し，実践しようとしている。

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第１章 『生涯を見通す』 人生を展望する	・自立した生活を営むために，生涯発達の視点からライフステージの特徴と課題を理解する。 ・目標をもって生きる ＊将来の生活を展望する（人生すごろくの作成）	a：青年期の課題について理解し、人の一生を自分の問題として捉えるための知識を身に付けている。 b：青年期にある自分を見つめ、課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c：青年期の生き方について関心を持ち、主体的に学習に取り組もうとしている。	定期考査 作品 レポートなど	作品 プリント レポートなど	授業態度 学習課題の提出 レポートなど
	第２章 『人生をつくる』 人生をつくる	・家族・家庭を見つめる ・家族ってなんだろう ・家族に関する法律 ・これからの家庭生活と社会 ・労働について考える ・共に働くことを考える	a：生涯発達の視点から、家族・家庭の意義、社会との関わりなどについて理解し、人の一生を自分の問題として捉えるための知識を身に付けている。 b：生涯発達の視点から家族・家庭と社会との関わりについての課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c：家族・家庭の意義や役割、男女の平等と相互の協力などについて関心を持ち、主体的に学習に取り組もうとしている。	定期考査 作品 レポートなど	作品 プリント レポートなど	授業態度 学習課題の提出 レポートなど
2学期	第３章 『子どもと共に育つ』 命を育む 子どもの育つ力を知る	・子どもの育つ力を知る ・現代の子育ての環境について理解する ・子どもの権利と福祉を知る ・子どもと遊ぼう（玩具作成）	a：子どもの発達と保育について理解し、家族・地域・社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身に付けている b：子どもの発達と保育について、家族や地域の生活を見つめて課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c：子どもの発達と保育について関心を持ち、実践的・体験的な活動を通して主体的に学習に取り組もうとしている。	定期考査 作品 レポートなど	作品 プリント レポートなど	授業態度 学習課題の提出 レポートなど

※令和４年度以降入学生用

	第９章 『経済生活を営む』 情報の収集・比較と意思決定 家計をマネジメントする	・経済的に自立する ・給与明細を理解する ・契約と契約トラブルについて知る ・消費者をめぐる問題を理解する	a: 現在及び将来の消費生活と経済の計画・管理、生活設計のために必要な知識を身に付けている。 b: 消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計について、考え、工夫している。 c: 消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計について関心を持ち、主体的に学習に取り組もうとしている。	定期考査 作品 レポートなど	作品 プリント レポートなど	授業態度 学習課題の提出 レポートなど
3学期	第４章 『超高齢社会を共に生きる』 超高齢・大衆長寿社会の到来 これからの超高齢社会	・高齢社会の現状をしる ・これからの高齢社会が抱える問題について考える ・介護と向き合う ・インスタントシニア	a: 高齢者の生活について理解し、家族・地域・社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身につけている。 b: 高齢者の生活について、家族や地域の生活を見つめて課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c: 高齢者の生活について関心を持ち、実践的・体験的な活動を通して主体的に学習に取り組もうとしている。	定期考査 作品 レポートなど	作品 プリント レポートなど	授業態度 学習課題の提出 レポートなど
	第５章 『共に生き、共に支える』 社会保障の考え方 共に生きる	・社会保障について知る ・ユニバーサルデザインやバリアフリーについて理解する ・共生社会を考える	a: 共生社会と福祉について理解し、生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的な支援が果たす役割を認識するための知識を身に付けている。 b: 共生社会を成立させるための課題を見いだし、その解決をめざし社会の一員として何ができるか考え、工夫している。 c: 共生社会と福祉について家庭や社会の一員として関心を持ち、主体的に学習に取り組もうとしている。	定期考査 作品 レポートなど	作品 プリント レポートなど	授業態度 学習課題の提出 レポートなど

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度